

# 保護者向け 塾が講座 安城

プログラミングの基  
本が学べる保護者向け  
の「ママ向けロボット  
プログラミング体験講  
座」を安城市南町の伊  
与田塾が始めた。二〇  
二〇年度から小学校で  
必修化されることもあ  
り、同塾では一六年か  
ら小中学生向けに開講  
している。子を持つ母  
親などから「そもそも  
プログラミングって何  
？」という声が寄せら  
れたのがきっかけだっ  
た。



プログラミングに挑戦する参加者を見守る  
伊与田さん(左)＝安城市のアンフォーレで

## 教育現場 戸惑いも

プログラミング教育に  
ついては「なぜそうな  
ったのか」と考える手順  
を繰り返すことで問題解  
決能力や論理的な思考力  
を高めることが期待され  
ている。一方で、なじみ  
がないため、教育現場  
では戸惑う教員も多い  
という。愛知教育大の磯  
部征尊准教授(技術教育)  
は「どのように学校教育  
に取り入れ、授業を展開  
していくかは課題も多  
く、現場も試行錯誤」と  
述べる。

磯部准教授は学生らと  
一緒に安城や刈谷、知  
立市の小学校に出向き  
、児童と一緒に教員に  
も学んでもらう授業を  
開いている。磯部准教  
授は「無料でプログラ  
ミングを学べるサイト  
も多くある。ぜひ家庭  
でもゲーム感覚で挑  
戦してみてください」と  
話す。

## プログラミングに興味津々

安城市御幸本町の中  
心市街地拠点施設「ア  
ンフォーレ」で四月中  
旬に講座があった。三  
月に続き二回目の開  
催。塾代表の伊与田一  
太郎の回転速度やア  
ームの開く角度などの  
指示を一つずつ入力し  
ていく。少しでも間違  
えると思い通りに動  
かないため、参加した刈

谷市の田中亜紀さん  
(四)と木村陽子さん  
(三)も「どこが違うん  
だろう」と話しつつ、  
何度もやり直してい  
た。伊与田さんは「問  
違っている場所を自分  
で見つけるのも、プロ  
グラミングの面白さ」  
とアドバイスした。  
無事にロボットが動  
き「達成感が得られて  
楽しい」と喜ぶ田中さ  
ん。木村さんは「実際  
に子どもたちが受ける  
授業がどんなものにな  
り、親はそれをどうサ  
ポートしていけばいい  
のか不安が残ります」  
と本音を話した。

伊与田さんは「ニュ  
ースでプログラミング  
教育が取り上げられ  
ることが増え、問い合  
せは多い。子どもと一  
緒に親が楽しめれば、  
学習効果がさらに高  
くなるはず」と語る。今  
後も月一回、保護者向  
け体験講座を開く。◎

伊与田塾＝0566  
(93)3596  
(四方さつき)